



日本プロ野球選手会が復興支援イベント

野球で能登を応援！スポーツフェスタ



12月8日(日)、被災地の子どもたちを元気づけようと、石川県ゆかりの10選手を含むプロ野球21選手が能登を訪れました。選手たちは志賀、七尾、輪島、珠洲の4会場に分かれ、児童とチャッチボールやゲームを楽しみ、カレーの炊き出しやサインボール争奪じゃんけん大会なども開催しました。

志賀会場の志賀中学校には、東京ヤクルトスワローズの北村拓己選手（金沢市出身）など5選手が駆け付け、志賀学童野球クラブの児童や志賀中野球部の生徒に、ボールの投げ方や捕り方などの基本的な動きの指導をしました。

相神の仮設住宅「とき第8団地」に買い物支援ショップ「B & Gフレンドショップ」オープン



12月7日(土)、相神の仮設住宅「とき第8団地」に、被災者の買い物支援を目的としたトレーラーショップ「B & Gフレンドショップ」がオープンしました。B & G財団（東京都）が、店舗となるトレーラーハウスや冷蔵庫のレンタル代など約250万円を負担。団地には高齢者も多く、交通手段を持たない人が買い物が難しくなる降雪期を前に、オープンを実現しました。

店舗は「ワイン&フーズよしべ」（富来領家町）が運営。野菜や果物、レトルト食品を始め、洗剤やトイレトペーパーなどが並び、肉や魚などの生鮮食品は、店頭や電話で住民の希望を聞きながら、適宜入荷します。

【営業時間:10:00～13:30、15:30～17:00(※日定休)】

パンや菓子の原材料卸売・製造するホクト商事(株)

町特産「能登金時」の新商品発売を報告



12月2日(月)、パン・菓子の原材料卸売・製造するホクト商事(株)（名古屋）の皆川正浩社長は、町優良特産品のサツマイモ「能登金時」を使った新商品の発売を稲岡町長に報告しました。

新商品はスナックサンドとパンケーキで、ホクト商事(株)の子会社である大洋農産加工(株)（西山台）が加工した能登金時のペーストが使われています。

商品は「スナックサンド 能登金時芋&ミルク（フジパン(株)）」で、東海・北陸地方のスーパーで販売。復興支援として、パッケージには町の情報にアクセスできるQRコードを掲載しています。また「能登金時のさつまいもパンケーキ 2個入（製造元 敷島製パン(株)）」は、全国のローソンで販売。どちらも期間限定で、能登金時を使った新商品が順次販売予定です。

生産者の加茂野真奈美さんと三本松繁さんは「自分たちが生産したものが商品化されてうれしい」と話しました。



第25回これでもか！太鼓

復興の鼓動 力強く「志賀起心」初披露



11月10日(日)、志賀の太鼓連絡協議会主催の「第25回これでもか！太鼓」が町文化ホールで開かれ、地元の7団体による演奏のほか、「和楽団ジャパンマーベラス」の西口勝団長が作曲した復興を願う曲「志賀起心」が初めて披露され、力強い鼓動を響かせました。町内外から約450人の観衆が訪れ、各団体が伝統の祭り太鼓や創作太鼓で力強い演奏を披露しました。

また当日は義援金を募り、11月25日(月)に三井外弘会長が、集まった義援金を含む100,000円を稲岡町長に手渡しました。

志賀町商工会青年部が35年振りに志賀商工祭を復活 志賀商工祭&花火大会を開催



10月19日(土)、志賀町商工会青年部主催による志賀商工祭が、志賀町文化ホール・柴木総合公園で開催されました。町内外の飲食店や企業が設けた約70個のブースで復興を目指す町を元気付けました。地元アイドル「ジャンピン」や、ものまねタレント「みはる」、志賀天友太鼓のステージが会場を盛り上げました。夜には花火が打ち上げられ、町の一大イベントとして盛大に実施されました。

また11月25日(月)、余海洋樹青年部長と稲岡康治郎企画委員長が、その売り上げの一部(48,000円)を稲岡町長に手渡しました。余海部長は「地震もあり開催をためらったが、結果的に盛り上がり良かった。また来年も開催する」と話しました。

津波被災・下水道マンホールポンプ制御システム寄贈 荏原実業(株)に感謝状授与



津波で被災した町内の下水道マンホールポンプの情報を得た荏原実業(株)は、自発的に1月の積雪の中、同社開発の「マンホールポンプ制御システム」一式を持ち込み、水道の断水解消に合わせた上下水道一体での早期復旧に向けた支援活動を実施しました。その後、このシステム一式を町に寄贈し、被災地の復旧・復興に多大な貢献をしたとして、稲岡町長は感謝状を授与しました。

荏原実業株式会社 鈴木久司代表取締役会長兼CEOは「被災地の早期復旧・復興を願い、これからも支援活動を続けて貢献したい」と述べました。

ENEOSリニューアブル・エナジー(株) 学習コンテンツ付ノートを無償提供



12月2日(月)、ENEOSリニューアブル・エナジー(株)の竹内一弘代表取締役社長が稲岡町長を訪ね、学習コンテンツ付ノートを全国の小学校928校に、町内小学校には311部を無償提供したことを報告しました。

3年前から地域教育支援策の一環として、発電所が所在する地域の小学校用に、環境保全や再生可能エネルギーに関する学習コンテンツを記載したノートを製作し、希望校に提供しています。ノートは小学1・3・5年生向けの3種類で、行動チェック、クイズなどを掲載した自由帳です。

今年は5年生向けのノートに、志賀町の紹介ページを掲載しています。



新技術を活用した新規訓練 石川県原子力防災訓練を実施



11月24日(日)、地震発生による志賀原子力発電所の事故を想定した石川県原子力防災訓練があり、町職員、国や県の関係機関職員が参加しました。

震災の影響を考慮し、例年より規模が縮小されましたが、エアテント展張訓練や無人ヘリコプターを利用した環境放射線モニタリングなど、新技術を活用した新規訓練が実施され、災害時の対応手順などを確認しました。



志賀学童野球クラブの15人

県新人学童野球選手権で準優勝を報告



11月に金沢市で開かれた県新人学童野球選手権で15年振りに決勝進出し、準優勝した志賀学童野球クラブの15人が11月19日(火)、間嶋教育長を訪ね、さらなる飛躍を誓いました。

主将の松田陽翔さん(志賀小5年)は「次こそは優勝し、全国大会に出場したい」と話し、間嶋教育長は「この冬に鍛えて、次の大会優勝に向けて頑張る」とエールを送りました。道辻敬志代表が同行しました。

東京都知事杯第15回中学選抜U15レスリング選手権

永谷梨愛さんが全国大会準優勝



東京都で11月29日(金)～12月1日(日)にあった「東京都知事杯第15回中学選抜U15レスリング選手権」の女子50kg級で準優勝した永谷梨愛さん(志賀中3年)が、12月11日(火)、稲岡町長を訪ね、さらなる成長を誓いました。

永谷さんは「大会を通してタックルが入らなかった。志賀高校に進学し、全試合で優勝目指して頑張りたい」と話しました。山下勝監督が同行しました。

園児さんと先生でえらぶ！みんなのよみきかせ絵本大賞

おすすめ絵本20冊を町内保育園に献本



11月21日(木)、日本生活協同組合連合会主催の「園児さんと先生でえらぶ！よみきかせ絵本部門」にノミネートされた絵本20冊が高浜・とぎ保育園に献本されました。献本された本は実際に全て読み聞かせし、園児や先生がおすすめしたい1冊を選び投票します。全国の参加保育園からおすすめの1冊を投票する流れで、大賞が決定します。

I B K Oワールドカップ空手道選手権

寺井美華さん優勝、喜佐那緒さん準優勝



都内で11月23日(土)にあった国際大会「I B K Oワールドカップ空手道選手権」の型・中2、3女子の部で優勝した寺井美華さん(富来中3年)と準優勝の喜佐那緒さん(志賀中2年)が、12月3日(火)、稲岡町長に報告しました。

2人は小学校1年生から武芸館吉村道場に通い、決勝の舞台でも「相手が幼なじみで緊張しなかった」と話しました。高校受験を控える寺井さんは「勉強との両立を頑張りたい」、連続出場を目指す喜佐さんは「来年こそは優勝を狙う」と話しました。田端政一監督が同行しました。

12月4日～12月10日は人権週間

人権擁護委員が商業施設で街頭啓発

人権週間に合わせて、12月10日(火)に志賀町の人権擁護委員の皆さんが、志賀・富来中学校の生徒と共に町内の商業施設2カ所で街頭啓発活動を行いました。

街頭啓発は、人権について多くの人に知ってもらい、人権意識を高めてもらおうと毎年実施しています。

訪れた買い物客に啓発チラシや標語入りグッズを配布し、「人権の大切さ」などについて呼びかけました。

